DENON

サブウーハー

DSW-7L2

取扱説明書

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

総目次

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

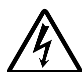


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】


△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

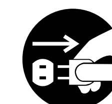

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



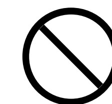
❑ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

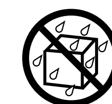

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

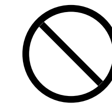
内部に異物を入れない


通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まずアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように


雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

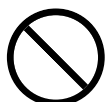
キャビネット（スピーカー）を外したり、改造したりしない



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ご使用は正しい電源電圧で



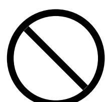
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら



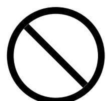
電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まずアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない



スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

❏ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない



水場での
使用禁止

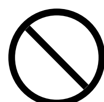
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

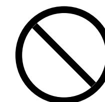


万一内部に異物が入った場合は、まず本機と接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

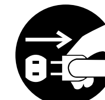
❏ 安全上お守りいただきたいこと

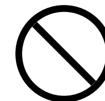
電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは





電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



アンプを接続する場合は、アンプの電源を切り、取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

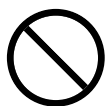
電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

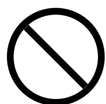
❑ 置き場所について

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

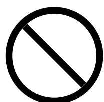
壁や他の機器から少し離して設置する



壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

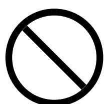
❑ 取り扱いについて

通風をさまたげない



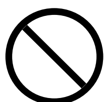
内部の温度上昇を防ぐため、次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



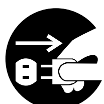
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

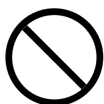


機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は



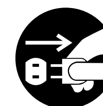
まずアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

❑ 使わないときは

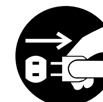
長時間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

❑ お手入れについて

お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5 年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ステレオ音のエチケット



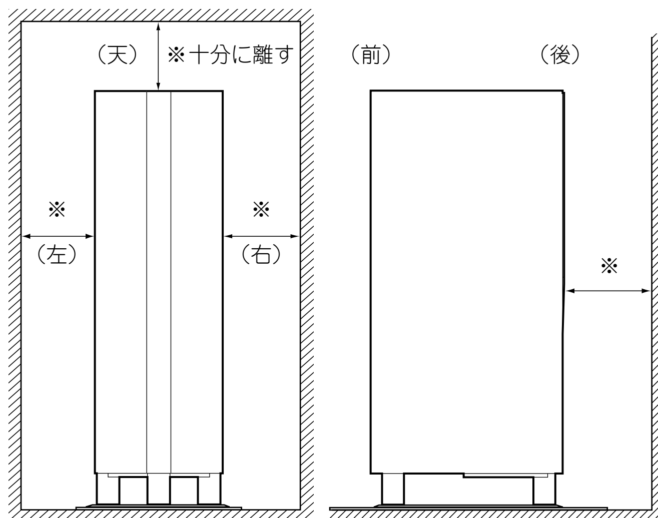
- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

ご使用になる前に

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

- 転倒による事故を防止するため、しっかりとした水平な床の上に設置してください。
- 本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置すると、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。
- 本機の上に、レコードプレーヤー、CD プレーヤーなどの AV 機器を設置しないでください。
- 本機のスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型ですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合は、テレビから離してご使用ください。
- 放熱のため、壁や他の AV 機器などから天面、左右両面、後面とも十分に離してくだい。

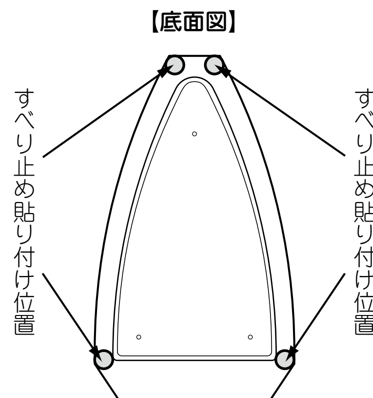




本書に使用しているイラストは取り扱い方法を説明するためのもので、実物と異なる場合があります。

設置のしかた

本機をタイル貼りやフローリングの床のようにすべりやすいところで使用する場合には、付属のすべり止めを下図のように貼り付けてご使用ください。

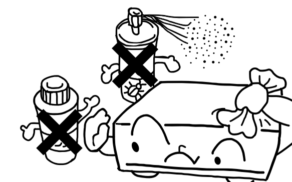


外観仕上げについて

- 木目柄モデルのキャビネットの表面には天然木材から作られた部材を使用しています。そのために色や柄は自然のままであり、他にひとつとして同じ色柄のものはありません。塗装や最終仕上げでは当社の厳しい品質基準で管理しておりますので、ご安心してご使用ください。
- ホワイトモデルのキャビネットの表面に直射日光を当てますと変色する場合がありますが、キャビネットの品質に影響することはありません。
- 本体は塗装と研磨を何度も繰り返して仕上げております。このため、まれに塗料の破片や研磨粉が付着している場合がありますが、性能上は問題ありませんので安心してご使用ください。これらが外観面にある場合は、傷が付かないようにそっと付属の拭き布で拭き取ってください。

お手入れのしかた

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布または付属の拭き布を使用して軽く拭き取ってください。
  ※ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



その他のご注意

- 音量を極端に大きくして歪んだ音のまま再生することは、スピーカーにとってダメージになる場合があります。適正な音量でお楽しみください。

ご使用になる前に

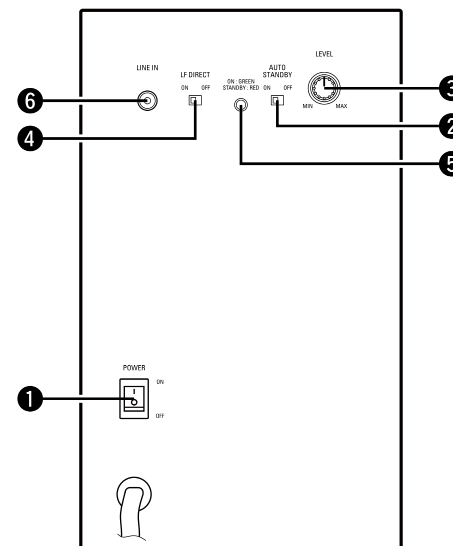
付属品について

ご使用の前にご確認ください。

オーディオケーブル ……………… 1 本 （ケーブルの長さ：約 3m）	拭き布 ……………… 1 枚
すべり止め（1 シート 4 枚）……… 1 枚	取扱説明書（本書）……………… 1 冊 製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表 ……… 1 枚 保証書【梱包箱に添付】

各部の名前とはたらき

リアパネル



❶ **電源スイッチ（POWER）**
- 『ON』にすると、電源が入ります。
- セットが動作するまで数秒かかりますが、これは電源オン時の雑音を防止するミューティング回路が内蔵されているためです。

❷ **オートスタンバイスイッチ（AUTO STANDBY）**
- オートスタンバイ機能の ON/OFF を切り替えます。
- オンのときに、本機に入力される信号がない状態が 5 ～ 11 分間続くと、自動的にスタンバイ状態になります。スタンバイ状態のときに信号が入力されると電源が入ります。

❸ **音量調節つまみ（LEVEL）**
- サブウーハーの音量を調節します。

❹ **LF ダイレクトスイッチ（LF DIRECT）**
- オンにすると、本機に入力された信号はクロスオーバー回路や音量調整回路を通らずに、高品位な再生がおこなえます。

ご注意

LF ダイレクト機能をオンにすると、音量調節つまみが働かなくなります。

❺ **動作表示**
- 2 色の電源表示で、本機の動作状態を次のように示します。
  - ・電源オン ……………… 緑点灯
  - ・オートスタンバイ（スタンバイ状態）……… 赤点灯
  - ・電源オフ ……………… 消灯
  - ・ミューティング時および保護回路動作時 ……… 赤点滅

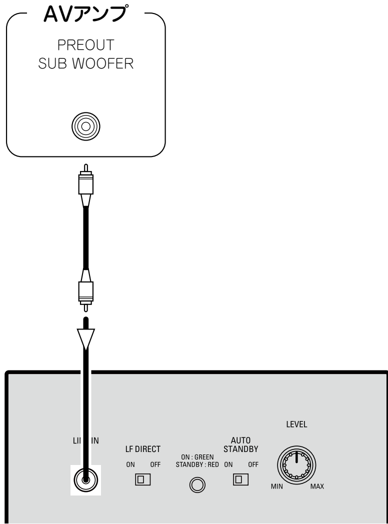
❻ **ライン入力端子（LINE IN）**
- AV アンプのサブウーハー用プリアウト端子（SUB-WOOFER、MONO OUT など）を付属のオーディオケーブルで接続します。

接続のしかた

★ 本機の接続をおこなう場合は、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

アンプとの接続

付属のオーディオケーブルで、本機の LINE IN 端子と接続します。



ご注意

サブウーハーチャンネル以外のプリアウト端子と接続すると、十分な低音が得られません。

電源の接続

本機の電源プラグを電源コンセント（AC100V 50/60Hz）に挿入する。

ご注意

電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因となります。

操作のしかた

1.電源スイッチをオンにする。

2.音量調節つまみで低音の強さを調節する。

故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう。

❏ 各接続は正しいですか

❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

❏ アンプやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置
電源スイッチを入れても、表示が点灯せず、音も出ない。	● 電源プラグの差し込みが不完全である。	● 電源プラグの差し込みを点検してください。
表示は点灯するが、音が出ない。	● コードの接続が不完全である。 ● 音量調節つまみを絞っている。	● しっかり接続してください。 ● 適当な位置まで回してください。
表示が点滅したまま、音が出ない。	● 過大入力や温度上昇などにより保護回路が動作した。	● いったん電源スイッチをオフにして、1 分以上放置してから再度オンにしてください。それでも復帰しない場合は電源プラグをコンセントから抜き取り、お買い上げの販売店にご相談ください。
音が歪む。	● 音量が大きすぎる。 ● 本機を接続したアンプ側で音が歪んでいる。	● 音量調節つまみを左に回し、音量を下げてください。 ● アンプ側で低音を増強しないでください。
発振する。 （大きな音が連続的にでる。）	● 本機の音量が大きすぎる。	● 音量調節つまみを左に回し、音量を下げてください。

その他について

保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

形式：	アンプ内蔵バスレフ型
再生周波数域：	30Hz ～ 200Hz
最大出力：	110W（PEAK）
入力インピーダンス：	LINE IN：22k Ω
電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	58W
待機電力：	0.9W
スピーカーユニット：	13cm コーン形× 1、防磁設計
寸法：	幅：　220mm（台座を含む）（本体サイズ：170mm） 高さ：　510mm（台座、すべり止めを含む） 奥行き：380mm（台座を含む）
質量：	12.8kg

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※『防磁設計』とは、（社）電子情報技術産業協会（略称 JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。
※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。







株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　00D 511 4716 104